

## プログラム

開会挨拶 13:30～

イントロダクション 13:35～[15分]  
データでみる英国と日本の住宅市場の違い

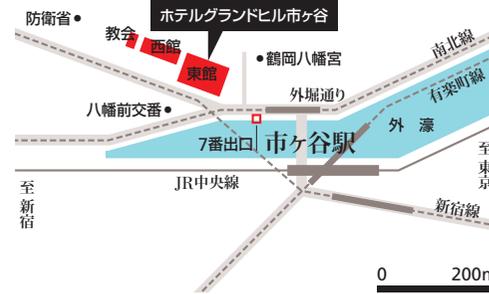
第1部 13:50～[60分]  
英国における住宅供給および戦略計画  
大ロンドン圏を中心とする人口増及び住宅需要増大への挑戦

休憩 14:50～[10分]

第2部 15:00～[50分]  
英国の地方都市と住宅政策の現在  
リバプール1ポンド住宅から考える  
地方都市の空き家や公営住宅維持管理問題

質疑応答 15:50～[30分]

## 会場までのアクセス



東京：ホテルグランドヒル市ヶ谷[東館2階 白樺]  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町4-1 | Tel. 03-3268-0111(代)  
JR中央・総武線「市ヶ谷駅」徒歩3分／都営新宿線「市ヶ谷駅」4番出口より徒歩3分／東京メトロ有楽町線「市ヶ谷駅」7番出口より徒歩3分／東京メトロ南北線「市ヶ谷駅」7番出口より徒歩3分



大阪：ホテルメルパルク大阪[3階 ボヌール]  
〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-2-1 | Tel. 06-6350-2111(代)  
新大阪駅中央改札口から右折し北口へ、地下鉄4番出口で徒歩約5分／地下鉄大阪メトロ4番出口からは徒歩約4分



一般財団法人 **住宅改良開発公社**

〒102-0076 東京都千代田区五番町14-1  
国際中正会館ビル3階  
Tel. 03-3237-7411(代) | Fax. 03-3237-7418  
www.kairyoukousya.or.jp

英国住宅政策セミナー

英国の住宅政策・実務経験者が語る  
住宅問題への挑戦

日英研究者による  
報告会 [通訳付き]



各会場  
定員100名

◎ 主催：一般財団法人 住宅改良開発公社

◎ 開催日時

東京会場 —— ホテルグランドヒル市ヶ谷 [東館2階 白樺]

2019年 **12 | 10** [火]  
13:30～16:20 [受付13:00開始]

大阪会場 —— ホテルメルパルク大阪 [3階 ボヌール]

2019年 **12 | 12** [木]  
13:30～16:20 [受付13:00開始]

◎ 申込み：住宅改良開発公社HP

www.kairyoukousya.or.jp/seminar/から  
お申し込みください。  
右のQRコードからもアクセスできます。



## 主催者挨拶

住宅改良開発公社は、1955年に設立され、これまでその時々の経済・社会の状況や住宅事情に応じて住まいと住環境の改善に取り組んで参りました。

現在は、住宅金融支援機構や民間金融機関による賃貸住宅融資に係る保証事業を中心に賃貸住宅の管理・経営などの事業を展開しております。

加えて、昨年設置した「住まいまち研究所」において、「住宅」、「まち」、「コミュニティ」、「人」をテーマとする調査研究を行い、その成果は、住まいやまちづくりに関する議論の深化、発展に資するよう広く発信することとしてます。

今回の「英国住宅政策セミナー」は同研究所の活動の一環として企画しました。英国の実務経験者が語る住宅問題への挑戦が、わが国の実務者や研究者など住宅分野で活躍される多くの方々のお取組みに参考となることを期待しております。

一般財団法人 住宅改良開発公社  
理事長 生亀 孝志

## イントロダクション

### データでみる英国と日本の住宅市場の違い

新しい住宅よりも古い住宅が大事にされ  
価値が生まれる市場、持家率が日本並に高くても  
公営住宅が求められる市場をデータで紹介する。

講師

住まいまち研究所長  
**松本 眞理 氏**

## 第1部

### 英国における住宅供給および戦略計画

大ロンドン圏を中心とする人口増及び住宅需要増大への挑戦  
[逐次通訳付き]

大ロンドン地域での人口と住宅需要の増加に挑戦する英国政府の住宅政策展開に焦点を当てて、低所得層向け住宅供給政策や土地利用計画の役割、公共の土地所有について考える。

講師

ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)  
パトレット都市計画学部上級研究員  
**ダンカン・ボウイ 氏 (Mr. Duncan Bowie)**

## 第2部

### 英国の地方都市と住宅政策の現在

リバプール1ポンド住宅から考える

英国地方都市の空き家や公営住宅維持管理問題

リバプール市の公営住宅が1ポンド(約135円)で  
払い下げられた事例を通し、イギリスの地方都市における  
住宅問題を住宅政策の視点から考え、その解決策を探る。

講師

Urushibara Architecture + Consultancy 代表  
**漆原 弘 氏**

## 質疑応答

会場からの質問に対し、講師全員でお答えします[逐次通訳付き]。

## 講師略歴



法政大学大学院経営学専攻修士課程修了。住宅金融支援機構で主に賃貸住宅融資部門を担当。2018年6月より、一般財団法人住宅改良開発公社住まいまち研究所長。一級建築士、経営学修士、カラーコーディネーター一級。



現ロンドン・広域東南地域戦略計画ネットワーク共同主催者。現ウェストミンスター大学ハイバリーグループ住宅供給ネットワーク委員長。1980年オックスフォード工科大学、都市計画修士課程終了後、ロンドン住宅公社の投資部門、ロンドン・ドックランド開発公社などを歴任し、ロンドン市長下の住宅戦略計画主幹を務め、空間計画や住宅戦略の実践に携わる。2010年からはウェストミンスター大学空間計画学部上級講師を務め、現職に至る。「世界都市における政策及び計画、住まい(Routledge 2010)」、「住宅供給危機に向けた抜本的政策対応(Bristol University Press 2018)」など著書多数。



早稲田大学建築学科大学院修士過程終了後、SKM設計計画事務所/近代建築研究所勤務。1999年、集合住宅デザイン研究で、英国ヨーク大学で博士号取得。その後、アイルランドO'Riordan Staehleや英国Perkins Ogdenなどの名門建築事務所を歴任し、ハンブシャー州建築課を経て、2019年にUrushibara Architecture and Consultancyを設立。現在は、英国で住宅設計やアーバンデザインを手がけると共に、住宅政策などの研究活動を行っている。建築学博士、一級建築士、英国政府登録建築家、英国王立建築家協会会員。「Creative Local: エリアリノベーション海外編」や「世界の地方創生: 辺境のスタート」(いずれも共著、学芸出版社2017)など著書多数。